

じょうめ

番楽の笛太鼓の音が、お参りに行く人々を浮き立たせる。人垣を分けて舞台に近づきたい姿も見え、そして、子供達が汗だくで床を鳴らし、若者が勇ましく「殺経昇殿」を演ずる。

故郷の地へ、東京の人間なのに、自分が古里に帰った氏子でもあるかの様に神に祈った社の森から二人の突然に足元の草花の中が下にあるの、顔に覆わたされて現われた、尾根つたいに登って来たのだ。

だんだん、そう言え、煙が境界をさし切り始める。その言え、煙が栗山の森山の絵本の裏に、別名「うばふところ」と書いてあった。

私にも古里のイメージはある。

五城目町躍進二十年記念式典 豊かな英知 あすへの布石

十一月二十三日新装の体育館で

町では来る十一月二十三日、完成されたばかりの秋田周辺広域市町村圏五城目体育館において、「五城目町躍進二十年記念式典」を行なう。これは、合併十周年記念事業として昭和四十九年度から着工している、山村開発センターや五城目体育館の竣工を祝うとともに、永年この町の発展に寄与した功勞を称えて、坂谷八十治氏、渡辺綱彦氏の両者に、名誉町民の称号を付与するなど、被表彰者二百六十余名が中心の式典となる。

なお当日は、五一中、馬場目小学校の合唱、山内番楽、自衛隊音楽隊など出演して錦上添花を添えることになっている。表彰される方は次のとおりである。

◎名誉町民

坂谷 八十治

(83才)

明治二十四年四月七日生

五城目町字石田六ヶ村郷源12



昭和二年三月

五城目町商工会監事に就任、以後理事、副会長、会長を歴任、昭和三十五年から同四十三年までは秋田県商工会連合会副会長を勤め、商工業発展に大きく寄与した。

昭和三年七月

五城目共栄信用組合の設立に尽力し理事に就任、昭和二十五年五城目信用組合に改組して組合長に、さらに同二十七年には五城目信用金庫に組織替えして理事長となり、現在まで中小企業の発展に尽くされた。

昭和四年四月

五城目町議会議員となり、同十四年助役に就任、同二十六年に

は秋田県議会議員となり二十六年間、地方自治発展のため活躍された。

【栄 誉】

昭和二十八年五月

商工業振興に尽くした功績により黄綬褒章を受ける。

昭和四十一年五月

中小企業の経営改善普及事業に尽くした功績により勳五等瑞宝章を受ける。

昭和四十二年十一月

自治の進展と産業開発振興に尽くされたことにより五城目町功勞者となる。

渡辺 綱彦

(67才)

明治四十四年五月五日生

五城目町字上町一九三

昭和四十三年五城目町功勞者として表彰されているが、中でもその功績が特に顕著であるので五城目町表彰条例第六条の規定に基づき、議会の同意を得、名誉町民の称号を付与し、その功勞を永く顕彰する。

昭和四十四年十一月

自治の進展と産業の開発振興に尽くされた功績により五城目町功勞者として表彰を受ける。

【功績の概要】

昭和十二年一月

秋田中央交通株式会社(元五城目軌道株式会社)取締役社長に就任。以来三十数年県内の交通

観光関係団体の役員を併任し、本町はもちろん秋田県の交通、観光の開発、発展に斯界の指導者として活躍された。

昭和十九年三月

五城目町長並びに同農業会長に就任、地方自治の進展、農業経営の基盤づくりに貢献した。

昭和四十四年七月

国際ロータリークラブ三五三地区連合会長に就任、また秋田県ユネスコ協会会員として教育文化の面で大いに活躍された。

昭和四十六年六月

鉄道及び自動車運送事業の経営者として業界の発展と観光事業の振興に努めた功績により運輸大臣表彰を受ける。

昭和四十四年十二月

自治の進展と産業の開発振興に尽くされた功績により五城目町功勞者として表彰を受ける。

昭和四十四年十一月

交通、観光事業の開発発展の功績により黄綬褒章を受ける。

昭和四十四年九月

五城目町富津内山下山下川原カウトの指導者として、その運営育成につとめるとともに昭和四十

五年十月から寒暑、風雨をいとわず五城目小学校前十字路に立つて児童、生徒の登校時における交通指導を続けており、地域住民から深く感謝されている。

長谷川 恵一 (43才)

五城目町大川字下川原

昭和四十年に町交通指導隊が結成されて以来、副隊長として隊の運営に当たるとともに街頭指導を積極的に行進し、交通安全思想の高揚と交通事故防止のため、風雨をいとわず活躍されていることは他の模範である。

◎地方自治功勞者

十六年以上にわたり、町議会議員として、(地方自治の確立と町政の進展に寄与された。

鳥山 豊 (58才)

28年

五城目町富津内中津又字落合

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

24年

上樋口字向川原

菊地 鶴松 (54才)

字鶴ノ木

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

上樋口字向川原

鳥井 与一郎 (61才)

本間 金一郎 (56才)

本間 与四郎 (56才)

牧口 武彦 (56才)

小池字岡本下台

代替地提供者

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

五城目町合併記念事業の一環として

の推進に大きく貢献された。

大瀧村官有地

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

上樋口字切通

町監査委員として、十三年間に

わたり町財政の運営を監査し、町

政の発展に寄与した。

荒川 豊治 (59才)

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

五城目町字下町

小野 一郎 (58才)

浦横町字家ノ上

15年

安東 誠 (54才)

字上町

15年

藤原 利市 (69才)

字石田六ヶ村堰添

15年

山田 佐子 (59才)

富津内山下内字奈良崎

10年

今村 方介 (54才)

字下町

10年

石井 勝雄 (49才)

内川黒土字千刈台

10年

遊佐 武 (30年)

上樋口

30年

田中 一視 (24年)

富津内

24年

渡部 松五郎 (15年)

富津内

15年

伊藤 孝太郎 (15年)

富津内

15年

石川 力也 (30年)

馬場目

30年

藤 鉄蔵 (30年)

馬場目

30年

伊藤 新悦 (30年)

馬場目

30年

佐々木 鉄夫 (30年)

馬場目

30年

石井 運蔵 (30年)

馬場目

30年

無火災部落

住民一人が防火につとめ、

二十年以上にあたり無火災であ

石川 力也 (30年)

馬場目

30年

藤 鉄蔵 (30年)

馬場目

30年

伊藤 新悦 (30年)

馬場目

30年

佐々木 鉄夫 (30年)

馬場目

30年

石井 運蔵 (30年)

馬場目

30年

富田子供会 (代表 原田 充)

黒地町子供会 (代表 荒川 裕子)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

黒地町子供会 (代表 土井 公)

1975・11・15

黒土子供会育成会

(代表石井良司)

●国保運営委員

運営協議会委員として十六年間にわたる国保事業に貢献した。

北島 石太郎 大川 黒土 渡辺 時治 黒土 小玉 鶴夫 上町

●町職員

三十年以上町職員として勤務し町政の進展に努力した。

佐々木 市太郎 36年 七倉 石川 ミヨ 31年 館町

●環境衛生功勞

十五年の永い間にわたり、塵芥処理業務に従事し、その精勵ぶりは他の模範である。

●北島政治

15年 岡本

●納税功勞

古川町納税組合の運営と納税意欲の高揚につとめ懸念であった全戸加入組合の誕生に貢献した。

●尾形勇蔵

下町

●納税組合

地方自治における納税の意義と重要性を認識し十年以上にわたって連税完納した。

●高千納税組合

20年

●西野八幡前納税組合

20年

●西野第三納税組合

20年

大川四ツ屋納税組合

(組合長 加藤勝太郎)

20年

蓬内台納税組合

(組合長 佐々木千代吉)

15年

石崎納税組合

(組合長 加藤 篤一)

15年

黒土納税組合

(組合長 石井 助蔵)

10年

杉沢第四納税組合

(組合長 石川金悦郎)

10年

中村納税組合

(組合長 佐藤 俊郎)

10年

任意加入

古川町納税組合

(組合長 尾形 勇蔵)

10年

紀久米町納税組合

(組合長 伊藤梅之助)

15年

宮田職城納税組合

(組合長 伊藤 新作)

15年

上樋口下納税組合

(組合長 猿田 岩男)

15年

岡本森山下納税組合

(組合長 近江 永蔵)

15年

大川寺小路第一納税組合

(組合長 八柳太五郎)

渡辺 松之助

上町

荒川 一郎

下町

宮城 石夫

馬場目

近野 勇太郎

馬場目

沢田 義治郎

内川

松橋 末之助

内川

阿部 三郎

広ヶ野

小松 弘一

秋田目

小玉 孝一

内川

一関 勝己

田町

勝田 茂信

館町

石川 重直

館町

小松 昌作

大川

伊藤 興武

役場

加藤 久悦

野町

工藤 信一

下町

●公募作品

五城目町合併二十周年、山村開発センター並びに秋田周辺、記念に公募した作品を審査した結果、次のとおり決定しました。

一、五城目町山村開発センター並びに秋田周辺、五城目町町民及び町出身者(対象)応募総数八十七点の中に適当と思われる愛称がなかったため、応募者の意図するところを汲んで実行委員会では、五城目町町民に決定しました。

二、シンボルカラー 若草色(ライトグリーン)に決定しました。 応募総数二十六点のうち該当者が四名で抽選の結果

「すずめだて」 藤原 亮一 秋田市 以上の三名に対して後日記念品を差し上げます。

二、シンボルカラー 若草色(ライトグリーン)に決定しました。 応募総数二十六点のうち該当者が四名で抽選の結果

入選者 工藤 泉 内川 又抽選にもれたつぎの三名に対しては、後日記念品を差し上げます。

三、開発センター屋上から、朝な夕な、その時刻をお知らせするメロデー 応募総数七点ありましたが適当と思われる曲名がなかったため、応募者の意図するところを汲んで実行委員会では、

「富士山」に決定しました。 但し、朝し朝だ元気で、昼は富士山、夕は夕やけこやけ、と応募した金子泉(九歳、五城目町上樋口)さんの一部採用であります。後日記念品を差し上げます。

四、五城目町山村開発センターの部屋の愛称(町職員を対象)はつぎのとおり決定しました。

宿泊研修室

みちのく

(和室十五、〇帖)

おふくろ(十二、五帖)

ふるさと(十五、〇帖)

わらび(十帖)

あさみ(六帖)

七、絵画

応募総数二二六点の中から三八点を秀作に一八八点を佳作に決定しました。

五、五城目町山村開発センター並びに秋田周辺、五城目町町民(対象)応募した作品を審査した結果、九点を秀作に一〇六点を佳作と決定しました。

六、作文(町内、小学校、中学校児童生徒を対象) 応募総数一一五点の中から審査の結果、九点を秀作に一〇六点を佳作と決定しました。

(小学校の部) 秀作 くぼいちゆうこ 五六一 金沢ゆうえつ 五二二 千田さき 五二二 伊藤 春美 五二二 小玉 智美 五二二 大石 智聖 五二二 沢田 貞彦 五二二 伊藤 幸子 五二二

資材展示室

一階ロビー

会議室

青少年室

農林実習室

高沢 奈緒

八柳 卓

小松 希代子

山田 明美

千田 明美

七、絵画

応募総数二二六点の中から三八点を秀作に一八八点を佳作に決定しました。

五、五城目町山村開発センター並びに秋田周辺、五城目町町民(対象)応募した作品を審査した結果、九点を秀作に一〇六点を佳作と決定しました。

六、作文(町内、小学校、中学校児童生徒を対象) 応募総数一一五点の中から審査の結果、九点を秀作に一〇六点を佳作と決定しました。

(小学校の部) 秀作 くぼいちゆうこ 五六一 金沢ゆうえつ 五二二 千田さき 五二二 伊藤 春美 五二二 小玉 智美 五二二 大石 智聖 五二二 沢田 貞彦 五二二 伊藤 幸子 五二二

資材展示室

一階ロビー

会議室

青少年室

渡辺消防団長 勲五等旭日章に輝く



渡辺 時治 氏

去る十一月三日付で、国から生存者叙勲の受章者名が発表されたが、本町の渡辺時治氏は消防活動における永年の功勞が認められて勲五等旭日章を受章する榮答に浴した。

壯者をしのぐ行動力

渡辺氏は今年七十歳になるが、

わたしは、もり山がだいすきです。わたしはいつもバスやくるまにのると、よくいねわりをするので、もり山がみえてくるとおこしらえています。



それは、もり山をみると、うちへついたらよに、きもちがおちつくからです。

あめの日も、かぜの日も、どっしりとかまえていつもわたしたち

そのため、農林部における消防ポンプの機動化を積極的に推進し、就任十年目にしてその目標を達成し本町の消防近代化に大きな貢献をしている。

一方予防監察の徹底をはかるかわら、火災予防組合の育成をはかるなど、火災予防思想の生活化に努力した結果、四十八年の記録的な豪雪期を無火災で切り抜ける快挙を成し遂げている。

移動消防学校開設

消防団員の教養訓練の徹底は他町村の追随を許さず、不測の事態に対処するゆゑに、教養の確立に努めた。又団員の教養をより高めるため、今年から七年計画で移動消防学校の開設を企画、その積極的な姿勢は関係各機関から高く評価されている。

記念式典に 参加する方へお願い

～入場はお早く、スリッパ持参～
入場は午前九時三十分までに五城目町躍進二十年記念式典は午前十時キックリに始めますので当日参加を予定されている方は次の事に留意して、お早目においでくださるようお願いいたします。

当日記念品をお渡ししますが、案内状と一緒に入れてありました引換券は必ずご持参ください。
4その他
当日の式典には一戸一人参加していただくわけですが、式典の進行上小さなお子さんはできるだけご遠慮くださるようご協力をお願いいたします。

記念行事多彩なプログラム

日本実業団バレーボールリーグ緒戦

十一月二十六日(水) 後一時
五城目町戦没者追悼式
町民ホール

十一月二十七日(木) 前九時
南秋、河辺民生児童委員研修会
町民ホール

※分科会(九会場)
十一月二十九日(土) 前九時
生涯教育公開研究会集会
第二体育室

十一月三十日(日) 第一体育室
森昌子ショウ

十二月六日(土) 〇時三十分
全日本実業団バレーボールリーグ戦
第一体育室

十一月二十四日 前八時三十分
湖東部中学校バレー、バスケットボール大会
第一体育室

※二十八日(三十日町民の集い) 入場券 七〇〇円
中、高席 五〇〇円
小学生 二〇〇円
連絡先 電話 四一〇〇番
五城目町体育協会

わたしたちの五じょうめまち

秀作発表者 五小 一年 くほいちゆうこ

のしみてです。やさいうりのおばあさん、きのこのうりのおじさんたちきせつものごなをならべて、「やすくしてやるともかわねが」「かつてけれ。」といっしょけんめいです。わたしはそれをみてると、みんなのひとからかつてあげたことどものさいてんに、でてみたい

なあとおもいます。わたしのうちは、いそのめのほうにはたけがありです。わたしは、ときどきはたけについていきま。はたけから、大きなたけものながたつてくるのがみえます。それは、あたらしいこみんかんとたいいくかんだそうです。かわったかたちをしていて、ゆう日をうける、やねがあかくきらきらして、たいへんきれいです。

わたしたちは、はやくその中へはいってみたいとおもいます。おとうさんたちは、「あくどのはたけは、千ねもす」と、たてものがいっぱいあって、五じょうめまちもかわるだらうなあ。」といっています。

※二十八日(三十日町民の集い) 入場券 七〇〇円
中、高席 五〇〇円
小学生 二〇〇円
連絡先 電話 四一〇〇番
五城目町体育協会

十一月二十九日～三十日

されるこ
れまで
た・実際
こんどの
実質的
以てもよ

が年（義
の小学校
かれてい
四月一

6

められ
願させら
れた・

に奉仕さ
る國家と
に變え
た。

33

①

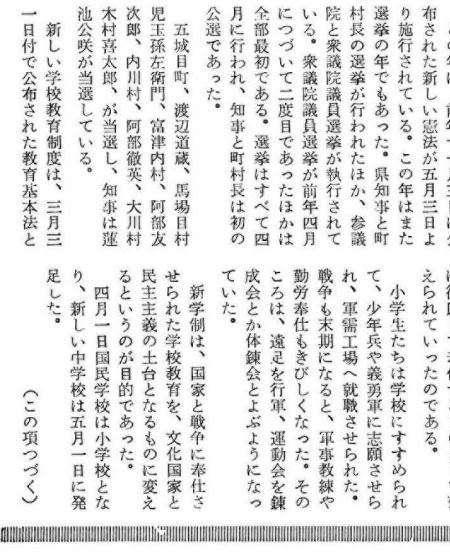
小
野
一
二

されるこ
それまで
た・実際
こんどの
実質的
以てもよ
高いもの

6

められ
誤させら
れた・
手教練や
た。その
勤会を鍊
になっ

に奉仕さ
る国家と
に変わ
る。



第十九回 秋田県森山登山競技会

錦おりなす森山をかけ登る

十一月三日、抜けるような青空のもとで、第十九回秋田県森山登山競技会をおこなった。

参加チームは町内一般、中学生をはじめ、上小阿仁中学校、若美町など、総勢三百名の選手が森山の頂上をめざして健脚を競った。成績は中学校の団体男女、女子個人など三タイトルを上小阿仁中学校が独占した。また一般団体も若美町チームが優勝するなど地元五個人の二種目の制覇にとどまった

▼森山登山成績表

・中、男、個
①上小阿仁中(競上) 16分11秒



・中、男、個
①上小阿仁中バスケット 17分45秒
②五一中 A 18分20秒
③卓球 20分29秒
④バスケットB 21分61秒
⑤バレーボール 21分04秒

・中、男、個
①上小阿仁中バスケット 17分45秒
②五一中 A 18分20秒
③卓球 20分29秒
④バスケットB 21分61秒
⑤バレーボール 21分04秒

・中、男、個
①上小阿仁中バスケット 17分45秒
②五一中 A 18分20秒
③卓球 20分29秒
④バスケットB 21分61秒
⑤バレーボール 21分04秒

・中、男、個
①上小阿仁中バスケット 17分45秒
②五一中 A 18分20秒
③卓球 20分29秒
④バスケットB 21分61秒
⑤バレーボール 21分04秒

・中、男、個
①上小阿仁中バスケット 17分45秒
②五一中 A 18分20秒
③卓球 20分29秒
④バスケットB 21分61秒
⑤バレーボール 21分04秒

・中、女、個
①北林明子(上小阿仁) 4分24秒

・中、女、個
①北林明子(上小阿仁) 4分24秒

・中、女、個
①北林明子(上小阿仁) 4分24秒

・中、女、個
①北林明子(上小阿仁) 4分24秒

・中、女、個
①北林明子(上小阿仁) 4分24秒

五城目町公民館の移転に伴う 使用についてお知らせとお願い

今度新しく催館地区に開発センター、広域体育館が竣工します。それに伴い公民館の職員や備品等も十一月十八日(火)ごろそちらに移転しますのでお知らせし、そこで公民館等の使用についていろいろご不便もあるかと思われ、ますが、次の通りにしたいのでよろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

●新しい施設の利用
・新しい施設(開発センター、広域体育館)の使用は準備等の関係もあるため、特別な事情のあるものを除いて、一月五日(月)以降にのみ予定です。

●今までの公民館使用の場合
電話 二九一七番
使用期間 昭和五十年十一月末日までとなります。
電話番号 十一月十七日ごろから、二九一七番になります。
その他 十一月十七日ごろから日中は公民館職員一、二名ぐらいと夜間は宿直員をおきます。
●十二月いっばい
・十二月中は移転後の整理と、新

②北林則子(上小阿仁) 4分25秒
③山田美香() 4分30秒
④武石輝美() 4分49秒
⑤宮城利子(五一中) 4分57秒
⑥浅野めぐみ() 5分00秒
▼一般団体(男)
①若美駅伝クラブ 22分27秒
②五城目町役場A 24分27秒
③農協 30分20秒
④役場B 30分20秒
⑤青年会 30分20秒

⑥大川青年会
▼一般個人(男)
①石井道春(陸友会) 21分30秒
②小柳七郎(スキ部品) 24分13秒
③鈴木初男(若美) 28分08秒
④石井五兵衛() 28分30秒
▼一般個人(女)
①佐々木ミキ 13分26秒
②伊藤 郁子 14分45秒
③館岡 敏子 15分53秒

第11回 五城目～上小阿仁駅伝大会

十月二十六日午前十一時から五城目～上小阿仁駅伝が、県内から三十一チームの参加のもとにおこなわれた。例年雨や寒さにたたかれてきたが、今年は快晴のもと、紅葉道をひた走り、上小阿仁のゴールをめざした。

優勝チームは予想された秋田自衛隊であったが、男鹿市チームもよく頑張った。最終ランナーにたすきをタッチするまで激しデットヒートが演じられ、最後まで予断を許さないゲーム展開となった。結局選手の配分に研究があがった。

健闘した本町二チーム
五城目陸友チームは今年もよく健闘し三位を確保した。この駅伝は年々強豪チームが増加しており、その中でこの成績をあげたのは立派である。又役場チームは二十八位に甘んじたが、昨年決勝点への最終ランナーであったことを思えば、素人ばかりのチームとしてその健闘を称えたい。

成績は次のとおりである。
①秋田自衛隊 1時間34分24秒
②男鹿市陸協 1時間34分49秒
③五城目陸友会 1時間38分06秒
④平鹿オレンジ 1時間38分56秒
⑤森吉陸協 1時間40分17秒
⑥能代市陸協 1時間40分18秒
⑦鷹巣陸協 1時間41分48秒
⑧秋田鉄道管理局 1時間42分40秒
⑨秋田大学 1時間43分17秒
⑩大館陸友 1時間43分38秒
⑪若美町駅伝クラブ 1時間45分21秒

休館日は次のとおり
毎週 木曜日
年末、年始
(十二月二十八日～一月三日)
恒 蒸日
(一年一回及至二回全館消毒)
但し、次の日にかりぎ無料公開
子供の日 (八月十五日)
県の日 (九月十五日)
敬老の日 (九月十五日)
文化の日 (十一月三日)

休館日と無料公開日
休館日は次のとおり
毎週 木曜日
年末、年始
(十二月二十八日～一月三日)
恒 蒸日
(一年一回及至二回全館消毒)
但し、次の日にかりぎ無料公開
子供の日 (八月十五日)
県の日 (九月十五日)
敬老の日 (九月十五日)
文化の日 (十一月三日)

